

2020

# 新型コロナウイルス感染対策 屋久島山岳ガイドングマニュアル

安全安心な登山のために



## 目 次

はじめに	…2
1. 全登山ツアーにおける感染対策（共通事項）	…3
2. 各コースにおける留意点	…7
3. 施設利用における注意点	…11
4. 感染対策に用いる道具について	…12
5. 感染が疑われるクライアントへの対応	…13
6. ツアー終了後について	…13
参考1 お客様お申込み書（例）	…14
参考2 新型コロナウイルスへの感染が疑われる場合の対応	…15
参考3 当日健康チェック表（例）	…16

## はじめに

今般の新型コロナウイルスの感染拡大に伴い屋久島への観光客等が激減し、宿泊・飲食サービス業等の島内観光産業が深刻な影響を受けており、とりわけ、観光客の多くを占める登山客の激減は、山岳ガイド関係者に一層深刻なダメージを与えています。また、これから訪れるウィズコロナ時代において、登山中の新型コロナウイルスの感染をリスクの一つとして捉える必要があり、山岳ガイドには、これまでのガイディング技術に加え、感染防止対策も求められますが、感染防止対策を重視するあまりに、クライアントケアが担保できないガイディングとなるのは本末転倒といえるでしょう。

このため、当財団では屋久島観光協会ガイド部会と連携し、屋久島の山岳ガイドの方々に屋久島へ来訪される登山客へウィズコロナ時代に対応した安全なガイドサービスを提供していただきますとともに、このことを島外へ発信すること等により、屋久島への登山客の誘客を推進することを目的として本マニュアルを作成しました。

本マニュアルが、屋久島へ来訪される登山客への新型コロナウイルスの感染防止に配慮した安全なガイドサービスの提供と誘客への一助となれば幸いです。

2021年2月

公益財団法人屋久島環境文化財団

## 1. 全登山ツアーにおける感染対策（共通事項）

### ① ツアー形態について

ツアーの参加人員が5名を超えると、休憩場所、撮影地などの混雑が発生しやすく、感染拡大リスクが高まるため、1名以上のガイドを伴う5名まで※のグループが望ましい。

※新型コロナウイルス感染拡大防止に重きを置いているため、屋久島町が策定するエコツーリズム推進全体構想で定める1グループの人数と異なる場合があります。

### ② ツアー募集時

ツアーの参加者を募集する場合は、ホームページなどで事前に新型コロナウイルス感染拡大防止に努めていただく旨を必ず伝える。

#### 例文

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ツアー参加をご希望されるお客様は以下の事項にご同意いただきますようお願いいたします。

- ・ツアー中はマスクを必ず着用してください。（歩行中や運動中は除く。）
- ・マスク着用や消毒等ガイドの指示には必ず従ってください。
- ・ツアー当日に発熱などの風邪症状、その他の体調不良がある場合はツアー参加をお断りする場合があります。
- ・国や地方自治体による移動制限のある地域にお住いのお客様はツアーにご参加いただけません。

精算は極力キャッシュレス決済や事前振り込みなどの事前精算に努める。

### ③ 予約申し込み時

予約申し込み時は、クライアントの体調や居住地なども確認し、クライアントの居住する国又は自治体が移動制限のある地域に該



当していないかを確認し、該当する場合は予約をご遠慮いただく。

(参考1、3)

また、予約した日から当日までに体調の異変があれば連絡をもらうように伝えるとともに、旅行や帰省中に家族等の陽性が判明するケースがあるため、同居者や会社の同僚等で体調不良の方がいないかの確認も行う。

#### ④ 宿泊施設からツアー開始前

宿泊施設からツアー開始前までにクライアントの体調確認及び検温を必ず行うこと。発熱や咳などの諸症状がない場合でも、睡眠不足や疲労の蓄積がある場合は、コース変更やツアー参加を断るなどの対応を行う。



ツアー前の検温

#### ⑤ 感染防止のために必要な装備及び準備品

マスク又はバフ、アルコールや除菌ジェルを必ず準備する。

緊急時対応のため、ゴーグル、手袋、ゴミ袋を必ず準備する。

#### ⑥ 移動車内での感染対策

レンタカーや公共交通機関による現地集合を行うことが望ましい。

車内の換気を行い、極力会話をしないようにする。ツアー終了後は必ず消毒を行う。また、車内での密接を防ぐため、車両の乗車定員に余裕を持つ。

## ⑦ ツアー実施中の留意点

ツアー中はマスク又はバフを着用する。

歩行中や運動中はマスク又はバフを着用しなくても良いが、すれ違い時や休憩中、撮影スポットなどではマスク又はバフを着用する。



すれ違いの際は登り下り共にマスク又はバフを着用する。

撮影スポットや観光スポットにおいては密を極力避け、ツアー同士譲り合ったり、マスク又はバフを着用の上、3 m程度の距離を取って並んで順番待ちをする。



撮影スポットでは距離を取って順番待ちをする。

小さな苔や植物などの紹介をする場合は密接を避け、クライアントとの距離を取りつつ、一人ひとり順番に紹介する方法や、スマートフォンやデジタルカメラなどで対象物を撮影し、距離を取ってクライアントに紹介する方法などの工夫を行う。



密接したガイディングを避ける。



看板前や解説スポットなどにおいても、クライアントとガイドの距離を取って解説を行う。また、この場合も忘れずにマスク又はバフを着用し、飛沫を飛ばすことのないように注意する。状況に応じて、拡声器やワイヤレスガイドシステムなどを活用する。



他の登山客の邪魔にならないように、クライアントとガイドの距離を取ってガイドニングを行う。

#### ⑧ 食事、休憩中における注意点

休憩中は他の登山客との混雑を避け、距離を取って休憩すること。食事をする際は広がって食事をするか、クライアント同士、背を向けて食事をするなどの工夫をする。また、飲食中の会話は控え、会話を行う際は必ずマスク又はバフを着用する。



食事や休憩時は互いに正面を向かず距離を取る。

クライアントにおやつ等のサービスを行う場合は、同じ容器で食べ物を共有せず、個包装されたおやつ等を提供する。



## 2. 各コースにおける留意点

### ① 縄文杉トレッキングについて

屋久島で最も登山者の多いトレッキングコースであり、感染防止に特に注意しなければならない。

登山口の待合所やバイオトイレなどの屋内に入る場合は、必ずマスク又はバフを着用する。

シャトルバスの乗車時に、往路の待合所は乗車待ちで混雑するため、待合所での朝食は避け、クライアントの宿泊先で事前に食事を済ませていただくように案内する。

バス車内では必ずマスク又はバフを着用し、会話は控える。座席に余裕がある場合は、間隔を取って座るよう促す。下山後は下山の喜びからクライアントも興奮しており、大声で話す傾向があるため、乗車前にクライアントに注意喚起を行う必要がある。



混雑時のバス待合所



満員のシャトルバス車内では必ずマスク又はバフを着用



登山中はマスク又はバフを着用していなくとも、トイレや写真撮影ポイントではマスク着用を促すとともに、縄文杉やウイルソン株周辺もまた、人が滞留し混雑が起きやすい。混雑が起きないように、往路では写真撮影をせず、復路で写真撮影をするなどの工夫や、3 m程度の距離を保つよう気を配る。



混雑時の縄文杉



写真撮影は距離を取って順番待ちをする。

## ② 白谷雲水峡・ヤクスギランドトレッキングについて

白谷雲水峡とヤクスギランドは、1時間程度の短いコースから1日かけて歩くコースまであり、子供連れの家族や年配の方も多く訪れるため、島内の観光地で最も観光客が訪れる場所である。

白谷雲水峡及びヤクスギランドも縄文杉同様の点に注意しなければならないが、縄文杉との違いはバスツアーなどの団体客が多く、また、団体客の引率者がバスガイド、添乗員の2人のみで団体の全顧客を管理しきれていない場合がある点に注意が必要である。施設などにおいてもトイレや東屋、入り口近辺も団体客により混雑が多く見られるため、人との距離を取ることが出来ない場合は、必ずマスク又はバフなどを着用する必要がある。

撮影スポットとしては、苔むす森と太鼓岩があるが、苔むす森は15人程度、太鼓岩は5人程度が距離を取って楽しめる範囲内であるため、混雑時には譲り合う配慮を行う。



距離を取った太鼓岩と苔むす森

ヤクスギランドでは、説明書きのある看板や仏陀杉などの著名杉周辺で混雑しやすいため、これらの場所では必ずマスク又はバフ着用の必要がある。

白谷雲水峡の園内、特に白谷小屋は、トイレ利用、休憩、食事など、多岐にわたって利用される場所で、雨天時の小屋周辺は特に混雑しやすい。

ヤクスギランドでは、森泉のトイレ、売店、2階休憩所が混雑しやすい。特に雨天時は2階休憩所のテーブルなどが屋内にあるため、テーブルを消毒した上で利用した方が良い。



白谷小屋は特に混雑しやすい。

両コースとも短いコースにおいては、手すりが整備されているが、歩行中に手すりをつかんで歩くといった行為が感染につながる恐れがあるため、つかんだ後はこまめに手の消毒を促すなどの対策を行う。また、手袋を着用している場合は、手袋で顔を触らないよう注意喚起を行う。

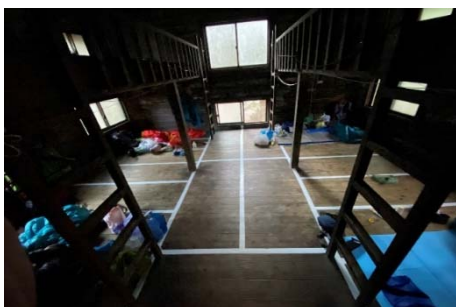
### ③ 縦走（山中泊登山）について

縦走などの山中泊コースは、クライアントと接する時間が非常に長く、テント、避難小屋への宿泊があり、食事などもクライアントと一緒に食べるため、より多くの感染防止対策が必要になる。

食事については、同じ鍋を直箸するようなメニューを避け、各自の食器に取り分けて食べられるメニューが望ましい。また、皿やカップなどは紙製の使い捨ての物を利用し、使用後はすぐにゴミ袋に捨てる。金属製の食器などを使用する場合は、食器はクライアント各自で管理してもらい、食事後のふき取りなどもクライアント各自で行ってもらう。

山中泊については、テント泊が基本とされており、荒天時や緊急時を除いて避難小屋の使用は控える。

テント泊は、テント内も狭く感染リスクを下げることは難しいため、原則として、同一家族や友人同士といった仲間内のみでの宿泊に限定した方がよい。



避難小屋内では十分距離を取って休む。



避難小屋に宿泊しなければならない場合は、宿泊者同士が十分な距離を取り、小屋の玄関や窓を開放して換気を行い、就寝の際はマスク又はバフを着用したまま就寝することが望ましい。また、小屋周辺においても、常に距離を取って休憩、食事をとることが望ましい。



テント泊は感染リスクを下げるのが難しい。



避難小屋周辺での休憩、食事も十分間隔を空ける。

### 3. 施設利用における注意点

屋久島山中には、避難小屋、トイレ、携帯トイレブース、東屋など様々な施設が点在している。共通の注意点として以下の項目が挙げられる。

- ・混雑にならない様に距離を取って順番に並んで利用する。
- ・施設内ではマスク又はバフを着用する。
- ・利用後は手指の消毒を行う。
- ・混雑時の食事は避ける。
- ・施設内の消毒スプレーが切れている場合は速やかに管理者に報告する。
- ・感染リスクの高い状態が生じている場合は、観光協会ガイド部会やガイド業関係各所に報告し、改善要請を行う。

#### 4. 感染対策に用いる道具について

- ①マスク・・・単独で使用する中で小さくかつ最も飛沫の拡散防止に効果があると言われているが、着用しながら登山を行うと暑さや息苦しさを伴うため、歩行中や活動中の着用は推奨できない。また、ウレタンや布製マスクよりも、不織布マスクの方が高い効果を得られるとされている。
- ②バフ・・・マスク同様小さく扱いやすいが、飛沫の拡散防止効果は不織布マスクより劣る。マスク同様、歩行・活動中の着用は推奨できない。
- ③フェイスガード・・・目の粘膜などに対する飛沫感染の防止力は高いが、飛沫の拡散防止力など全体的には感染防止効果は弱い。また、装着して活動すると、呼吸はしやすいが、暑い、声が聞こえにくい、まぶしい、車酔いの様な症状などが出る場合がある。前面のカバーも曇りやすく、時間がたつと飛沫で濡れるので、衛生的な点においても推奨できない。



飛沫と呼吸により濡れたフェイスガード

- ④消毒液（スプレー）・・・アルコール濃度は70%以上95%以下のエタノールを厚生労働省が推奨している。ただし、アルコールに対するアレルギーや皮膚疾患に注意しなければならない。

また、最も効果のある感染予防対策は手洗い（流水15秒手洗いで100分の1、石鹸で10秒のもみ洗いと流水15秒のすすぎで1万分の1にウイルスが減少）であることから、付近に手洗い場がある場合は消毒前の手洗いを推奨する。

- ⑤体温計・・・接触型、非接触型の2種類がある。接触型は正確な体温を測ることができるが、体に触れなければならないことや検温に時間がかかるなどのデメリットもある。非接触型は周囲の気温等に測定結果が左右されることがあるので、クライアントの額等にしっかり近づけて体温測定を行わなければならない。

## 5. 感染が疑われるクライアントへの対応

登山前や下山後に発熱や風邪の症状などがあり感染が疑われるクライアントに対しては、すみやかに担当ガイドに連絡をするとともに、屋久島町が示す対応（参考2）に沿い、医療機関や屋久島保健所に相談して指示を仰ぐ。

登山中に症状を呈した場合は、すぐにツアーを中止し、対象者と距離を取りながら下山する。下山後は、上記のとおり、医療機関や保健所に相談して指示を仰ぐ。

## 6. ツアー終了後について

クライアントの帰宅後2週間以内に体調不良が生じた際は、必ず連絡をもらう様をお願いします。

ガイド自身に新型コロナウイルスの感染の疑いなどがある場合は、速やかに屋久島町が示す対応に沿って行動する。

コロナウイルス感染に関わるクライアントの情報等をSNSなどで絶対に発信してはならない。



## 参考1 お客様お申込み書（例）

代表者名 姓 \_\_\_\_\_ 名 \_\_\_\_\_  
よみかた せい \_\_\_\_\_ めい \_\_\_\_\_

代表者性別 \_\_\_\_\_ 男 \_\_\_\_\_ 女 \_\_\_\_\_

代表者居住地 (市町村名まで) \_\_\_\_\_

代表者電話番号 \_\_\_\_\_

メールアドレス \_\_\_\_\_

ツアー参加人数 \_\_\_\_\_ 人

ツアー参加希望日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

参加希望コース \_\_\_\_\_

ツアー前日宿泊施設 \_\_\_\_\_

ツアー当日宿泊施設（お送り場所） \_\_\_\_\_

お支払い方法 現金 / クレジット決済 / 銀行振込

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、キャッシュレス決済にご協力  
ください。

ここ2週間におけるお客様の体調（発熱、咳等の風邪症状の有無）

以下の該当する症状がある場合はチェック

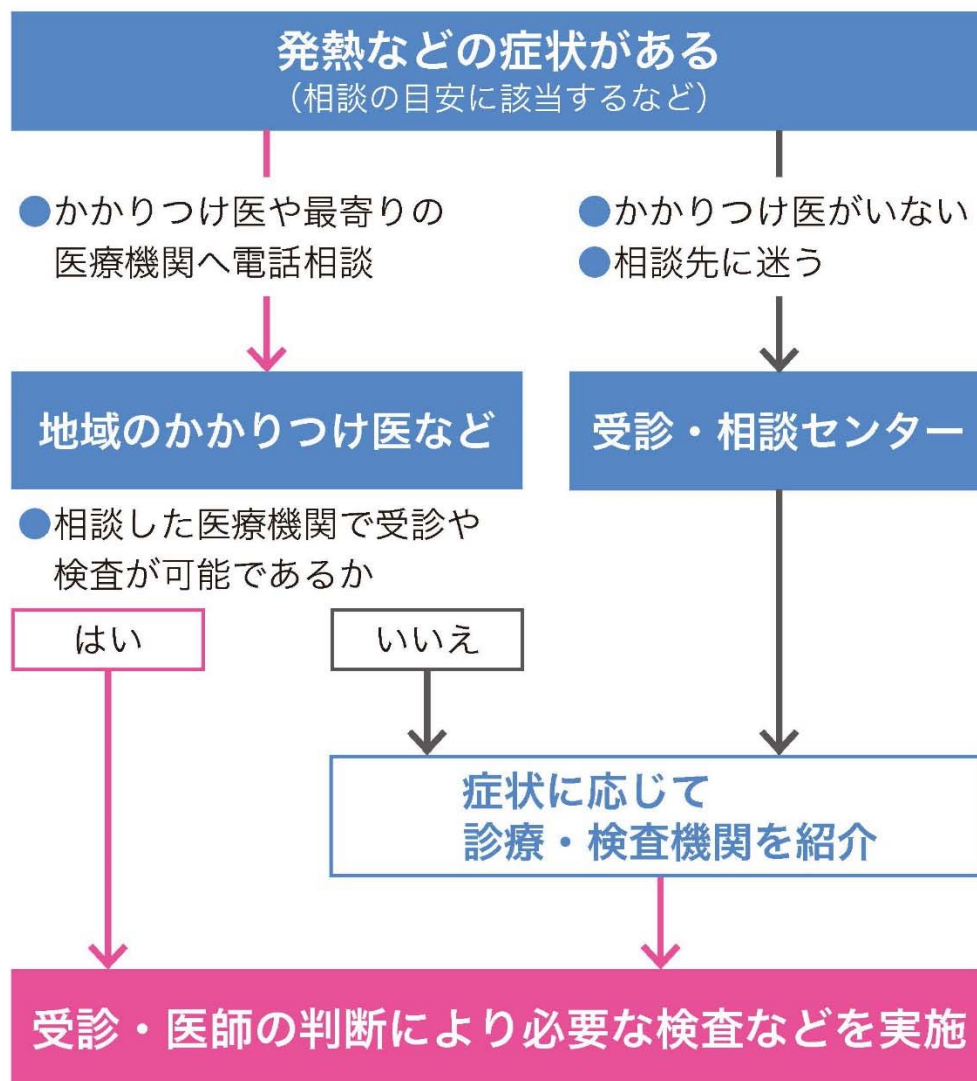
発熱  咳  咽頭痛  鼻水・鼻つまり  頭痛

倦怠感（だるさ）  味覚・臭覚の異常  息苦しさ

お客様からのメッセージ

## 参考2 新型コロナウイルスへの感染が疑われる場合の対応 (屋久島町)

### 相談から受診・検査までの主な流れ



(参考3)

### 当日健康チェック表 (例)

実施日 年 月 日

氏名		
確認項目	現在の状況	
体温	℃	
鼻汁・鼻閉	<input type="checkbox"/> 症状等なし	
咽頭痛	<input type="checkbox"/> 症状等なし	
咳	<input type="checkbox"/> 症状等なし	
呼吸困難	<input type="checkbox"/> 症状等なし	
全身倦怠感	<input type="checkbox"/> 症状等なし	
味覚障害・嗅覚障害	<input type="checkbox"/> 症状等なし	
頭痛	<input type="checkbox"/> 症状等なし	
嘔気・嘔吐	<input type="checkbox"/> 症状等なし	
下痢	<input type="checkbox"/> 症状等なし	
2週間以内に発熱や上記の症状はありませんか。	<input type="checkbox"/> 症状等なし	
2週間以内に海外への渡航歴及び渡航歴のある方との接触歴はありませんか。	<input type="checkbox"/> なし	
2週間以内に新型コロナウイルスの患者やその疑いがある患者との接触はありませんか。また、健康観察期間内ではありませんか。	<input type="checkbox"/> なし	
手指消毒はしていますか	<input type="checkbox"/> 実施している	
マスクは着用していますか	<input type="checkbox"/> 着用している	



MEMO

協力団体（順不同）

環境省屋久島自然保護官事務所  
鹿児島県屋久島警察署  
鹿児島県熊毛支庁屋久島事務所  
鹿児島県屋久島保健所  
熊毛地区消防組合北分遣所  
熊毛地区消防組合南分遣所  
屋久島町役場  
屋久島観光協会

新型コロナウイルス感染対策屋久島ガイドディングマニユアル  
第一版 令和3年2月26日

公益財団法人 屋久島環境文化財団  
〒891-4205 鹿児島県熊毛郡屋久島町宮之浦823番地1  
TEL：0997-42-2911 FAX：0997-49-1018  
URL：<http://www.yakushima.or.jp>



新型コロナウイルス感染対策屋久島ガイドングマニュアル